



いかずちの子

カトリック町田教会
町田市 中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512



<http://www.machida-catholic.jp/>



主がおっしゃったことは必ず
実現すると信じた方は、なんと
幸いです。 ルカ 1・45

「いまは一大事」

以前、街に買物に行った帰り道のことでした。後ろから若いお父さんと子どもたちの声が聴こえました。お父さんが「いま何時？」と尋ねました。お父さんは時計やケイタイを持っていないのかな？と想いました。

すると、幼稚園児くらいの子どもたちの声でしたが、「いまは一大事！」とすぐに返事がありました。なるほど、幼稚園児が時計やケイタイを持っていないのは、いま後ろの親子の流行の応答なのだろう……と察しました。いまは「大事か！」と想うと同時に、なるほどたしかに二人にとつて若いお父さんと子ども二人の買物（あるいは散歩）は大それないと思えました。

主任司祭 田中 隆弘

玉川学園に移り住んで早8年目になります。7回の引越しを経て途中海外駐在9年を経験しよう転勤はないだろうと、山登りが趣味の主人がすぐに丹沢の山に行ける所、私は関西出身で神戸の坂の街が趣があり好きなのでこの土地を選びました。（契約した途端に南米に転勤になり単身赴任になりましたが！（笑）

海外転勤になる前は藤が丘教会で、子供達はボアソノ神父様から幼児洗礼を授かりました。毎週土曜学校に未信者の主人も一緒に家族で通つたのが週末の楽しい思い出です。最初の駐在が中国の上海で、それまで自由に自転車移動していた長男小学3年生は隣りのマンションのお友達の家遊びに行くのにも親が付き

町田教会に出逢うまで

運営委員 中山 恵

です。仏陀が世に現れる目的、すなわちあらゆる事象の真実のありさまを示すこと……そこからいまは容易ならぬできごと。重大な事態のことを意味しています。

道院の修道生活があるがままに紹介されています。そのラストに修道士たちの顔のアップが映り、その一人年老いた盲目の修道士が穏やかな表情で「今の世の中は神の意識が失われていることが残念だ。われわれに起きることとはすべて神がなされたこと」という言葉がテロップで流れるそうです。

私自身は中高とミッションスクールに通っていたお陰で教会に通うようになり、20歳の時に成人式と共に箕面教会のフェルトネルスカンプ神父様から洗礼を授かりました。私が初めて出逢った神父様です。日本語はあまりお上手ではなかったですが、とても威厳があり包み込んで下さる温かさをいつも感じていました。さて、教会から足が遠のいて14年、神様からも心が少し離れてしまふような時、主人が住むチリを訪れて現地の方

の結婚式でサンチャゴカテドラルに参列した時、神様に「よく来たね」と言ってもらったように感じました。御ミサはスペイン語でしたが、御聖体は同じように頂けて感激しました。

14年ぶりに転籍先を町田教会に決め、漸く心身共に落ち着きました。間もなくプロック委員のお役を頂き居場所ができ、売店のお仕事をやり口で皆様のお顔を拝見でき、運営委員になって初めて教会全体が見渡せるようになりました。感謝しております。

生活をしているとふと聖書の場面、特に「マルタとマリア」が出てきます。つい私はマルタになりがちで、相手にサービスする事ばかり気を配りがちで、じっくり相手の話を聞くマリアを目標にしています。今後とも皆様宜しくお願い致します。

日曜学校

小杉 純子

今年の2月から日曜学校のスタッフとして仲間入りをさせていただきました。自分が子供の頃は、何気なく日曜学校に通っておりましたが、大人になった今は神様のことを学んだり、神父様やお友達とふれあうことのできる大切な場所であると思っております。

日曜学校では教会のこと、神様のこと、福音のこと、祈りのこと等沢山のことを学びます。大人になって日曜学校で学んだことや経験したことは、社会生活に活かしていると信じております。また、困難に直面したり、乗り越えなければいけない壁にぶつかったりした時に日曜学校で学んだことが支えとなる瞬間があることもあり、心のビタミン剤？心を柔軟にしてくれる柔軟剤？と言えるのではないかと思っております。

東京教区からの指示で活動が制限されていた時は、オンラインで教会学校が行われたりして、子供達にとっては試練の時だったと思います。学校だけでなく、日曜学校へも行けずリーダーやお友達と会えなかった時の子供達の気持ちを考えると胸が締め付けられる思いです。ミサが再開し、日曜学校が再開した時はどんなに嬉しかったことでしょう。

私自身、ミサが再開した時の感動は忘れることができません。そして、時間と共に少しずつ教会活動ができるようになり、日曜学校も時間と共に、元の日曜学校に戻りつつあります。今では、ほぼ通常通り元の日曜学校に戻り、歌を歌ったり声に出して祈ることもできるようになりました。



何より、友達と自由に話しができたり、過ごすことができたり、過すことができたことは子供達にとって大きな一歩だと言えることでしょうか。

子供達が大人になって、日曜学校は楽しかったな、神父様やシスターやリーダー達と出会えてよかったなど言ってもらえるような、いつまでも心のふるさとと言えるような日曜学校にしていけたらと思います。日曜学校で、一生懸命に学ぼうとする子供達の姿や楽しそうにしている姿を見ると、子供達と出会えて良かったなと思えてなりません。同時に神様への感謝とこれまでに懸命に日曜学校を大切に思っている子供達と関わって下さったすべての方々に感謝いたします。おかげ様で、日曜学校で有意義な時間を過ごすことができ、お誘い下さった方々に感謝しております。

🌟 7月23日 世界祈願日 祖父母と高齢者のための世界祈願日 🌟

「そのあわれみは代々に限りなく」(ルカ1:50) 教皇メッセージをイラストルポ(池永廣美)

主のいつくしみが
世代から
世代へ
伸展していく
ことを歌う

教皇
フランシスコ

テーマ

♪♪ こだえる

マニフィカト(Magnificat)

(わたしは神をあがめ)
マリアが神をたたえる賛歌、
福音書から歌詩がでてくる
福音の歌とも呼ばれる
(ルカ1:47-55)

マリア

あなたは女の中で
祝福された方。胎内の
お子さまも祝福されて
います

若いマリアと高齢の
エリザベトとが祝福
されて会う場面
(ルカ1:39-56)

社会
高齢者を必要

孤独なままに
しない

社会の隅に
追いやらない

老人

まだ
若い神の母

イエス

洗礼者ヨハネの
母

ガリア

父

神の聖なる
民となる

高年齢者

バトン

未来を築くのに
必要な過去

老人たちの

マリア エリザベト

若者と高齢者が
会うことによって
神はわたしたちに
ご自分の未来を
与えてくださる

バトンを
渡してくれるのは
高年齢者

救い

神

扉を確実に
開けてくださる

今年
ワールドユースデー
(世界青年の日)
23年8月1日~6日も
マリアのエリザベト訪問を
テーマに!(ルカ1:39)

願いへの神からの答え、
蒔いた種の実り

終戦の日特集

祖父の思い出

可児 祐子

幼少から同居していた祖父が軍人であったことを理解したのは、私が三十才になった頃だ。昭和六十三年に祖父が亡くなり、手記の一部を機関誌に載せたのがきっかけで、それまでは家族から戦争の話

を聞いたことは全くなかった。幼い私にとっては、着物を着た陽気なおじいちゃんであり、八人の孫を見守る威厳のある存在でもあった。歌が好きで、「あんこ椿は恋の花」や「箱根八里」などよく口ずさんで、夕刻銭湯まで歩きながら「炭鉱節」――

月が付いてくるのを初めて知った。小学生になると、祖父が生活していた離れ一間の和室で将棋の勝負。いろいろな手を教わったが、「守りながら攻める」必ずその両方を大事にしていた。戦中もそうであったのだらう。昭和十七年ガダルカナルの争奪戦が始まった時、参謀長として作戦の不利を唱え、待命(罷免)を受けている。組織においては従う者が出世する。祖父は、自分に忠実であったと思う。戦後度々取材もあつたようだが一切語らなかつた。私が学生の時に、記者を追

い返したことがある。当時私は何も知らなかつたのだが、なぜ帰したのか聞くと「大勢死んだんだよ」と怒つたように低い声で一言。翌日思い直し取材を受けているが、肝心なことは話さなかつた。『ガダルカナル戦記』を書かれた亀井宏さんの取材記事がネットにあるが、それはこの時のことである。

明治生まれの祖父は、幼年学校から陸大まで進み、陸軍において仙台、名古屋、参謀本部一課(予算編成、動員等を管掌する課)、京城、漢口、羅新、ラバウルなどで勤務した。それが日常でもあつた。祖父は宮崎で防衛にあたつて

いた時に終戦を迎えている。終戦とは、単に日米戦の終わった日ではなく、明治から続いた陸海軍の解散の日でもあつた。領土拡大の「近代」から、戦争放棄という、平和の恵みを手に入れた日であるということを、今一度、認識したいと思う。

祖父、故陸軍少将二見秋三郎は臨終洗礼により帰天。洗礼者ヨハネを霊名として戴いた。



初聖体おめでとう

小2 森山 志廉 (ミカエル)

せいたいは、イエスさまがいつしよにいてくれて、まもってくれることをならいませした。

でもいえずの体ってほんとなつたら、シスターが言つてたことがわかるかと思ひました。せいたいには十じかがついていておいしかったです。

小2 李 璋萱 (テレジア)

お兄ちゃんの初せい体の時

から、私もこの時をまつていました。いつもかぞくがごせいたいはいりようするときにどんな味? よいかおりがするね、と言いました。自分がいただいたときに、初めて甘かつた、イエスさまが心にきてくれたとかんじました。

小2 池松茉莉香 (聖母マリア)

いのちのパンをたべて、かみさまとよりちかづけたなと思ひました。

小4 平澤ひかり (アッシジの聖フランシスコ) ホスチアをいただきます。ホスチアを食べてみると意外な味でした。自分では、甘い

新ワンポイント聖書

「ある」から信じる

「ない」けれど信じる

詩編四二に基づく讚美歌「谷川の水を求めてあえぎさまよう鹿のように」が好きです。伝統的には長く「谷川」の訳でしたが、協会共同訳は、これを「涸れ谷」に変えました。この語は原典で水が侵食した谷の窪みを意味するからです。鹿の嗅覚は人の千倍とか、分かるのは谷川に水「あり」、涸れ谷に水「なし」で、要はどこかに水があるからでなく、水気の全くない谷をただ嗅覚を信じてさまよう鹿ということ。 「金持ちたちは皆、有り余る中から献金したが、この人は、乏しい中から持つてくる生活費を全部入れた」(ルカ二一・四)と、貧しい寡を主が褒めます。財布にもはや金

(2)

東京カトリック神学院講師 浦野 洋司

が「ない」、けれど信じて生きる信仰を褒めたのです。イサクから出る子孫を約束されたアブラハムは、イサクを生贄に献げよとの命令に従います。イサク「なし」としても約束(死者の復活までも)を信じたのでしようか。「ない」けれど信じる極めて厳しい絶対の信仰がここに見えます。

和辻哲郎の書『風土』に、ユダヤ人が人類に人格神を紹介した背景に中東の厳しい砂漠的風土があるとあります。これは水豊かな日本に育つた自身の反省です。私は鹿との連想で言えば、チョロチョロ流れる水が「ある」という想定で生きています。詩編作者は、水が全く「ない」場所、それでも信じて進んでいく、全く別次元の絶対信仰世界を生きたのです。



初聖体

6月11日



イメージがあつたのに、全然甘くありませんでした。

でも神様がきてくれたのかなと思つて心と体がポカポカしてきました。神様ありがとうございました。シスターエリザベトもありがとうございました。

小4 小澤 海斗
(ヨハネ)

ぼくは初聖体をもらった時に、イエス様からお力をもらい心がきれいになっていく気がしました。それに、パパやママがご聖体をもらつていたのでどんなお味がするのかなとずっと不思議でした。しかし、ご聖体を口に入れたしゅん間イエス様をやつとおむかえ出来たんだなと感動しました。これからも、イエス様はぼくたちと共におられ、見守ってられるんだなと感じて、生きていきたいです。

小4 エルザ カリン
(エルザ)

わたしは、はつせい体を受けて、思ったことは二つあります。一つめは、パンの味です。パンの味は思つていたのとちがいました。ふつうのパンだと思つていたけどおせんべいみたいでした。二つ目は、パンのことです。聖書には、食べたらおなかへらないとかいてあつたのに、おなかへりました。

小4 柳原 朱里
(クララ)

わたしは、初聖体の中で、初めてパンをもらえたことがとてもうれしかったです。初めてパンを食べてみて、すごくおいしいなと思いました。

あとは、みんなで歌を歌ったことが楽しかったです。初聖体を受けるみんなや、周りの人たちと一つになって歌えたからです。わたしは初聖体を受けて、もうぜつたい教会の仲間の一員だなと思いました。

小4 森山 綾駕
(ペトロ)

シスターに、いろいろ初聖体のことを習つて、イエス様はすごいことをしたんだなと分かりました。ご聖体はイエス様の身体の一部だと知りました。イエス様は自分の体の一部を困っている人にあげて、「中略」そこまでして困っている人を助けたいという思いがあることを分かりました。

中1 アディアモノン ヤオ
ジャドマリオン(マリオン)

私は、初聖体を受けました。少しきんちょうしましたが、私は新たな神の子として生まれ変わった事を神に心から感謝しているのです、これからも神様に祈りたいです。

★紙面のつごうで、みんなの文章がのせられなくてごめんなさい
|| 編集係より || 括弧内は霊名。

信 者 動 静

2023年5月～7月

(個人情報のため、削除しています)